

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2021 年 7 月号 (第 150 号)

発行責任者 佐藤 重松

「第1回 民話の由来地めぐり」

弘法の三ッ井戸～新光寺～所澤神明社～薬王寺



2021.5.14 薬王寺にて

撮影 仲山 富夫氏

11 月に「第2回 民話の由来地めぐり」を実施します

民話の会 仲山 富夫

5 月に、「第 1 回民話の由来地めぐり」をとところざわ倶楽部との共催で実施しました。コロナ禍にあつて心配はありましたが参加された皆様と一緒に、検温手指消毒そして概ね三蜜を避けながら事故もなく約 2 時間の散策が出来ました。皆さん楽しんでいただけたと思います。

民話の会では、定例会中止が続いてるなかでこれからの活動をどうしようかと話し合い、「野外活動をしよう」とまとまりました。今回は、民話を学びお話しするだけでなくその地域にまつわる話をできるだけ多く集めて紹介しました。それらの内容は HP へ掲載してありますので参考にいただければ幸いです。

さて、次回は 11 月に「第 2 回民話の由来地めぐり」を共催で計画しています。国の重要文化財の黄林閣～東光寺～塚ノ越地蔵～滝の城を巡ります。それぞれ所沢市の名所旧跡です。路傍では地蔵様や花々が迎えてくれるでしょう。秋のさわやかな季節に、ご一緒しませんか（詳細は後日連絡、乞うご期待！）



柳瀬荘（黄林閣）

環境問題シリーズ 第10章

世界的なトレンドに逆行する日本

地球環境に学ぶ 河登 一郎

「環境と経済」に関して、まさに時宜に適した本が昨年 9 月に ISEP（環境エネルギー研究所）から発行されました。「メガリスク時代の日本再生戦略」。再生可能エネルギーの権化とも云うべき飯田哲也（ISEP 代表）と、リベラルな主張で有名な慶応大学名誉教授金子勝との共著です。

地球環境に学ぶサークルとして「読書会」で学び、私たちができることから行動を起こし閉塞を破り希望ある社会を創らねばならないと受止めました。以下に各著者の論旨を紹介します。

飯田 哲也

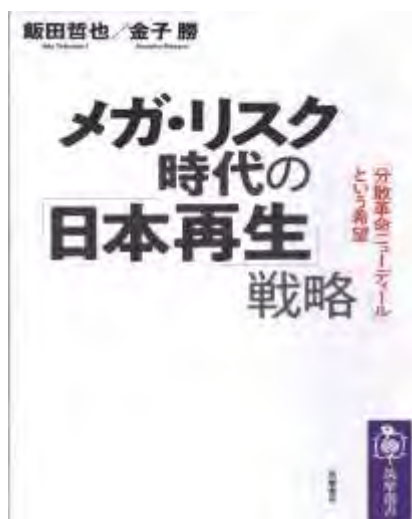
もとは原子力発電技術者。「原子カムラ」を脱出、スウェーデンに留学した経験により、再生可能エネルギーに絶対的な信頼を寄せている。

太陽光も風力その他水力・バイオマス・地熱も事実上無尽蔵で原料代はただ。建設コストも大幅に低下した。しかも CO₂は排出せず、地産地消が可能なエネルギーである。

一方、原子力も石油・石炭・天然ガスも、遠方からコスト（外貨）を掛けて輸入しなければならず、且つ原発のように一端事故が起こると、被害は超甚大/長期にわたる。

・北海道/福島県/小田原市/飯田市など各地の「ご当地発電所」の建設に関わっており 2 年前に四ツ谷駅の前に自前の「ISEP 本社」を建設した。

・第 4 章「今、自分にできること」の中で、北海道電力の「筆頭株主」になれると主張している。全国の 100 万人の市民が 1 万円ずつ拠出すれば、100 億円になり、それで北海道電力の 8%の「筆頭株主」になれば、当電力を再生可能エネルギー主体の電力会社にできるという。



金子 勝

以前からリベラルな視点で自民党政策を批判している。

・アベノミックスの失敗；消費税増税による、「格差」拡大、企業内蓄積増、失業増大など舌鋒鋭く批判。

・特に、日本の原子力政策を徹底的に批判している。即ち、2005 年の「原子力政策大綱」と 2006 年の「原子力立国計画」に基づき、東芝がウェスチングハウスを買収→倒産。莫大な損失を賄う為に、東芝の主要な業種を売却せざるを得なかったこと。日立もフランスの原発会社を買収、イギリスで原発 2 基を建設したが、安全基準が強化され、建設費が 1.5 倍に増えたため、建設計画凍結；リトアニアの原発計画も国民投票で否決された。三菱重工はトルコの計画が 2019 年に頓挫。台湾での原発 2 基も政府が凍結。ベトナムでの合意も 2016 年に計画が中止された。・・・日本政府の原発輸出政策はすべて失敗した。

・福島事故に対しても厳しい非難をしている。2012 年に 1 兆円の公的資金の投入を決めたが、その後も政府資金は 5 兆円→11 兆円→22 兆円→80 兆円と無限に拡大。東電も国も責任を取らず、結局は税金と電気料金でいずれも国民の負担が増える。電力自由化も中途半端で、東電と原発を守るために権力を悪用している。

◆日本と対比されるのはドイツである。昨年 2 月に無名の市民が 9 人で、現在の温室効果ガス排出目標が不十分だと違憲訴訟を起こし、今年 4 月、憲法裁判所は気候保護法が一部違憲と判断した。ドイツ政府は早速気候保護法を改正し、1) 温室ガスゼロを 2050 年→2045 年に早め、2) 2030 年△55%→△60%へ目標を上げ、3) 2030 年以降毎年の削減目標を明示し 2040 年△88%に。市民の意識も、司法も行政も日本とは格段の差がある。

■いま、私たちの暮らしを守るためには、「分散革命」を起こすこと。ポストコロナの時代を始めるには、地域の中で自分たちでお金を回して産業と仕事を作っていく、人間の基本的ニーズを自分たちの地域で満たし、食と農、医療介護や教育保育などについては、どのようなあり方がいいのか、それぞれ話し合っ決めていけるような社会を創ることである。

『みんなの広場』特集

《我が家の庭》

所沢の自然と農業 岡崎 久子

我が家の庭は狭いけれど、出ると何かしら小さな発見があって楽しい。小さな宇宙だなあと思う。見知らぬ草が生えてきた！蕾が膨らんできた！時には蜘蛛の巣が輝いていて綺麗だな！等々。

植物はすごいなあと思う。面倒見の良くない我が家の庭でも季節になると忘れずに花を咲かせる。一年の最初に咲くのはクロッカス。チューリップ、ハナニラ、紫蘭、牡丹、紫陽花、ホトトギス、菊と続く。今咲いているヘメロカリスは30年物だ！今年初めて咲いたのはマツバギク。何もしないのに増え続けるのはヒメツルソバ、芋カタバミだ。

実のなる木も楽しみだ！山椒、デコポン、柿。デコポンは我が家に合っていたのだろう。10年物だ！初めは3個の収穫だったが、取れる年と取れない年いろいろあったが、昨年は何と新記録100個超の収穫があった。でもさすがに木を疲れさせてしまったのだろう。今年は白い花が咲いた後、小さい実のまま落ちてしまったり色が変わってしまったり。久しぶりの不作になりそうだ。無理は禁物という事だと納得！柿は昨年初めて花を咲かせて実をつけたが、全て落ちてしまった。残念！今年は今40個ある実が残ってくれることを期待している。



《雑草讃歌》その後

野老澤の歴史をたのしむ会 小林 典子

雑草愛好家の私は、今から9年前にところざわ倶楽部の編集委員をしていた時、「広場」に「雑草讃歌」という小文で、我が家に生える雑草たちのことを書いている。その時登場するカラスノエンドウ、ヒメツルソバはいつの間にか無くなり、ムラサキサギゴケ、ネジバナは風前の灯状態、リュウノヒゲはあまりの繁殖ぶりに丁重に退場願った。ムラサキケマンだけはこの4月に優美な姿で庭を飾ってくれた。



年々庭の手入れをするのが負担になり、数年前に30数個の花鉢を整理したせいか、雑草が目立つようになった。愛好家を称してはいるが、我慢できないほど増え続ける雑草もあり、ツメクサ、カタバミ、スズメノヤリは御三家と言ってもよく、高浜虚子が「命かけて〇〇憎む女かな」と詠んだように、命かけてこれ等の除去に励んでいる。

今、心なしか小綺麗になった庭に、ニワゼキショウの小さな花が少しの風にも一斉に揺れて、涼を運んでくれている。

《沖縄》

野老澤の歴史をたのしむ会 安田 好子

私が初めてパスポートを取得し訪れた場所は未だ本土復帰前の沖縄でした。1972年4月でしたので本土復帰への高揚感が漂っていましたが一方観光バスは週末のみ運行とのんびりした空気も流れていました。第一印象はブルー沖縄、空と海がブルーに包まれその中に人々の生活が溶け込んで一体となり南国風情を醸し出していました。本島を一周して私の印象は変わりました。沖縄の中に基地があるのではなく、基地の中に沖縄がある感覚でした。

2020年（令和2年）3月時点で沖縄県内の米軍専用施設は約18484haで全国の約70.3%が集中しています。復帰時（1972年）は27893haで現在は3割強縮小したものの、普天間飛行場が1996年（平成8年）に日米両政府が全面返還で合意したが、名護市辺野古沿岸部への移設に県が反対しているうえ、軟弱地盤埋め立て用土砂は県南部の激戦地の土を使用、土の中に戦没者の遺骨が混ざる可能性もあるとして反対運動が起きました。防衛も大切、されど自然破壊は自分の首を絞めること。来年は本土復帰50周年、沖縄の人々が沖縄県になって良かったと思える日本になるように願わずにはいられません。





池田 新八郎氏 を 悼 む



《池田新八郎氏追悼集を掲載するにあたって》 広報部長 玉上 佳彦

この度、異例のことですが、広場7月号に「池田新八郎氏を悼む」頁を掲載することになりました経緯を以下に報告させていただきます。池田氏は、ところざわ倶楽部の広報紙「広場」の第1号から編集部長として本年1月号まで広場の編集に携わり、いろいろとご指導をいただきました。私は池田さんに推されて2015年広報部のHP担当を、17年に広報部長を引き受けた際には、非常に親身になって私を指導していただきました。広報部の主とも言える池田さんには親子以上のお付き合いをさせていただいてきたと思っております。現在の編集委員の了解のもとにこの頁を作成し、多くの方々から追悼文をお寄せいただくことにしました。

[佐藤 重松]

あのにこやかな人懐っこい面立ちと、どこか郷愁を感じさせる語り口がとても親しみやすく、誰からも慕われるお人柄でした。市民大学14期は二年次制に移行された最初の年、生涯学習をテーマに修了後もOB会（ところざわ倶楽部）の起ち上げと発展にご尽力頂きました。とりわけ、ところざわ倶楽部機関紙「広場」の初代広報部長として、今日の「広場」の礎を築かれたと聞いております。最初に道を切り拓いて行く事の大変さにご苦労に対して、心より感謝申し上げます。又、お亡くなりになる直前までご指導頂き有難うございました。愛する奥様のもとで安らかにやすみ下さい。合掌。

[方山 みどり]

池田さんと私との出会いは、葵の会の入会時でした。「待ってましたよ！」と池田さんは、穏やかな笑顔で迎えて下さり、一瞬で安心したことを、今でも思い出されます。池田さんとは、葵の会以外にも、ハーメルン実行委員会、広報部編集会議などで、ご一緒させていただきました。池田さんの古典文学に対する造詣の深さ、初代広報部長から亡くなる直前までの編集に関わってきた「ところざわ倶楽部」への愛と実行力など、たくさんのお話を学ばせていただきました。ところざわ倶楽部と共に歩んできた池田さん、長い間ありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

[八木 雅子]

池田さんが中央病院に入院されていると聞いて、私は恩師であり俳人の森澄雄の「俳句燦々」を手に池田さんを見舞った。句会へのお誘いもしたが、「広場」のむさしの俳句会が先…と思っていた。翌年ひょっこり私たちの句会に見学…と行って来て翌月から入会されたのだ。愛媛の結社で代表同人をされている喜多山さんの指導で所沢サン・アビリティーズを拠点に松井地区の友人たちでサークル活動をしている。この1,2年池田さんの出席は奥様の入院とコロナで少なくなっていた。三月句会当日の朝、池田さんは電話で「家内が亡くなったので…」と一言交わした。そして四月の句会には何もお返事がないままで訃報を聞いた。

「終戦日父の遺筆も七十五年」「三密で酒場も二組秋の風」「コロナ禍や故郷遠き孟蘭盆会」…新八郎昨年八月の句会でお会いしたのが最後となった。「万緑や君帰りなんこの宙へ」…雅子

[稲村 洋二]

私と池田さんとの出会いは衝撃的でした。2014年、薄井会長の時のところざわ倶楽部の理事会で池田さんから“稲村さんはどこの出身？”尋ねられ“鳥取です”、“鳥取の何处？”、“鳥取市です”、“私も鳥取市だが出身高校はどこ？”、“鳥取西高校です”、“私も鳥取西高校だ。自分のクラスに稲村姓の女性がいたな”、“それは多分私の姉だと思います”との会話があり、その偶然にびっくりしました。

池田さんは、今は鳥取市ですが、以前は気高郡青谷村といわれる日本海に面した小さな村の出身でした。幼くしてお父さんをインパール作戦で亡くされたと広場の“戦争と平和”シリーズの中で語っておられます。

一度、鳥取に帰って誰も住んでいない家の処分もしなければと語っておられました。また、菩提寺の住職から檀家の代表になって欲しいとの依頼があり困っているとの話もありました。鳥取での諸事はそのまま旅立たれました。残念です。

[富田 敬子]

御遺影の池田さん、光をあびて笑顔で見上げていらっしゃる先には何があるのでしょうか。そのはるかな処へ行ってしまわれたのですね。とても残念です。16期の後期で「能と古典」を学んだ時、先輩としてアシストしてくださり、ありがとうございました。修了時「能」をテーマに発表したことは、よい思い出となっております。そして古典を学び続けたいと「葵の会」を立ち上げるため、様々な御尽力を頂きました。会の代表も長年勤めてくださり、ありがとうございました。いつも感謝しておりました。

数名でスタートしました「葵の会」は30名を超える大所帯となりました。これからどうぞ「葵の会」の発展を見守っていて下さい。おつかれさまでした。ごゆっくりお休みください。合掌。

【竹内 寛】

池田さんとは葵の会、アジア研究会で一緒しました。葵の会では年間スケジュール作成、テーマの選択、講師選定等に率先して尽力されました。座学以外にも能楽鑑賞、お花見、バス旅行、文学散歩等の企画があり、会員間の交流を図りました。池田さんと言えばお酒が好きで、定例会の後の飲み会の常連でした。ほろ酔いで転倒した話も2、3度は聞いたことがあります。



写真は H28.3.31 撮影。左は早稲田大学キャンパス、坪内逍遙像前で「早稲田大学チアリーダーズ」のメンバーと一緒に。彼女たちは早稲田の W マークのポーズをしてくれた。撮影した仲山氏は「自分も一緒に撮ってもらいたかった」、とぼつりともらした。

右は講談社野間記念館（文京区）前、講談社時代の部下に 10 年振りに会う。野間記念館のスタッフは池田さんの講談社時代の顔なじみの方々と、久々の再会のやりとりの様子は見ていて微笑ましかった。ご冥福をお祈りいたします。

【仲山 富夫】

池田です、何してる、会おうか？、この意味は飲もうかとの私との合言葉でしたね。お互いに近くに居る関係で 15 分過ぎには「やるっきゃない茶屋」にいましたね。「今日は焼酎一本であがりましょう」は私のいつもの乾杯の音頭で、「今日は今までで一番いい話が出来た」がいつもの池田さんの締め言葉でした。でも、二人とも話の内容は覚えていませんでした。

2021 年 4 月 27 日（火）カルチャーパークで皆さんとゴミ拾いをしている最中に、「仲山さん、皆さんからいろいろ心配してもらってありがたく思ってるんだ、近いうちに集まって懇親したいと思っているんだ」「今、コロナだからね、もう少し先だね。食べてる？ 歩いてる？ たばこはやめなよ」池田さんは、皆さんにお礼をしたいと何度も同じことを言っては電話を切ろうとしませんでした。30 日に亡くなりましたと知らされました。合掌。

【志村 喜八】

池田さんとの思い出をと言われましたが、知り合ったのはだいぶ前で忘れていることが多い。でも、きっかけぐらいは書けるようなのでやってみます。

ところざわ倶楽部より山のことを話してとのことで、ネパールでの山や日本での雪山、岩登り、そして山スキーの話をしました。終わってから何人かで蕎麦屋で一杯やりながらの話はとても面白く、その中でサークルの話のことなど、特に池田さんより、アジア研究会のサークルの話は、各自が体験した事など楽しいサークルとのことなのですぐに入れてもらいました。それからは嬉遊に親しみを感じ飲みながらの話も多くなりました。池田さんは其の出版社の編集者とのことで、特に本のことなどや、今まで知り合った著者など社会、そして組合のあり方など自分の体験など話合いましたのでより親しくなり、自宅にも行って自分の文書などを見てもらい、奥様とも気楽に話しをし、カーテン等直すことなど親しく話をすることができました。池田さんは誰にも常に笑顔で接してくれる優しい方でした。奥様が亡くなられてショックなのか、いつもの池田さんとは何かしら違うような感じがしていたのです。池田さんより家の片づけなどしてもらいたいとのこと、今日までの池田さんに対する精一杯の事だと思っています。池田さんとの思い出は沢山ありますが、なかなか書けません。寂しいです。合掌。

【島川 謙二】

私にとって池田新八郎さんは、市民大学で最も古い友人であり、もっとも多く飲み語り合った友人です。『市民大学だより』の第 1 号編集会議で初めて会って、終了後ふたりでお茶を飲みました。彼がつくった『アジア研究会』はスタートから、『葵の会』は彼に頼まれて入会しました。『広場』の編集委員として『広場』が完成した後、仲山さんと 3 人、小手指で飲みました、夜まで。

彼が泥酔して西所沢の駅までタクシーで行き、奥さんに来てもらったり、入院した彼を見舞って奥さんから『いつもご迷惑をおかけして・・・』と言われたことも。

4 月 15 日の『葵の会』の講義を、同じテーブルで受けた時、『GW に孫たちが来るんだ』と嬉しそうに話していましたね。飲むと『ところざわ倶楽部』の将来像から人物論は『彼はもう少し・・・といいんだけどねえ』とか『彼女はいいねえ』など、たのしいお酒でした。

49 日を過ぎて天国の奥さんが彼を呼んだのだと思っています。合掌。

【訃報】池田新八郎氏は 4 月 30 日（金）の午前 1 時に、西所沢のご自宅で心筋梗塞のためご逝去されました。

享年 79 歳でした。皆様に謹んでご報告申し上げます。池田氏はところざわ倶楽部の創設に貢献し、初代広報部長として活躍されました。永きにわたりアジア研究会と葵の会の代表を務められ、ところざわ倶楽部にとってはたいへん貴重な存在でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。 広報部長 玉上 佳彦

サークル活動報告



福祉について幅広く学ぼう

活きいきシニア福祉の会
川上 紀春

五輪開催まであとわずかとなりました。コロナ禍における実施意義について、明確な政府説明がないままの強硬開催です。日本の医療体制の脆弱性も明らかになり、さらに 75 歳以上高齢者の医療窓口負担を 2 倍にする法律改正も強行されました。現役世代の健康保険料負担の軽減効果は、月 30 円程度と試算されています。また、所沢市の令和 3 年度からの 65 歳以上の介護保険料も増額改定となりました。

さて、次に印象に残ったサークル活動の 2 テーマについて報告します。

【4 月定例会「原発故郷 3650 日」DVD 視聴】

福島第一原発事故から 10 年。周辺地域のインフラ整備等は進んでいます。“復興”は本当に進んでいるのでしょうか。福島県では児童虐待などの DV 被害は震災前の 10 倍、若者の自殺率が全国 1 位になるなど、こころの傷はむしろ深くなっているとのことです。復興の現状と原発の脅威について再認識しました。

【5 月定例会「第 5 次地域福祉活動計画 in 所沢」(ところ WITH プラン) を学ぶ】



所沢市の高齢化率は、平成 23 年から 10 年間で約 6 ポイント増加し、令和 2 年時点で約 27% になりました。「ところ WITH プラン」は令和 3 年から令和 8 年度を推進期間とする、所沢市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」の愛称です。「地域共生社会」実現に向けた施策について学習しました。

楽しい音楽を一緒に ♪

楽悠クラブ
田村 健一郎

2021 年度前半 1 月～6 月は、毎回ほぼ 20 名の参加のもと、音楽鑑賞を愉しむことが出来ました。月例会の主演目の内容の概要を示します。

【1 月】オペラ「夕鶴」：日本のオペラを代表する作品の一つ、木下順二 作・團伊玖磨 作曲(1952 年初演)

600 回公演記念 1994 年 3 月新宿文化センター、指揮 團伊玖磨、主演 鮫島有美子 ソプラノ (つう)

【2 月】「リクエスト曲特集」；スメタナ「モルダウ」、山下洋輔「ベートーヴェン交響曲 9 番」、筒美京平「サザエさん」、中村泰士「喝采」、なかにし礼「今日でお別れ」、映画音楽「ひまわり」等々

【3 月】ヴェルディ 歌劇「椿姫」；2007 年ロリン・マゼール指揮によりミラノ・スカラ座で上演 楽悠クラブ先輩会員七戸氏提供のオペラ・ブルーレイ DVD からダビングしたビデオを使用。

【4 月】ヴェルディ 歌劇「オテロ」；主役のテノール歌手 ヨナス・カウスマンは、「ドミンゴ以来、この役の最も素晴らしい声と肉体的なカリスマ歌手」と讃えられた。(デイリー・メール)

【5 月】「マイ・フェア・レディ」；1964 年公開のミュージカル映画、ロマンティック・コメディ、主演はオードリー・ヘプバーンとレックス・ハリソン。1963 年にはジョン・F・ケネディ大統領暗殺事件発生。

【6 月】「ヴァイオリン演奏特集」；工房でヴァイオリンが出来るまで、総額 210 億円の

「ストラディバリウス」の紹介、寺井尚子のジャズヴァイオリン・ライブ、諏訪内晶子・高松あい・葉加瀬太郎の演奏など。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

8月12日(木) 休講・休会

暑気払い・・・未定

9月9日(木)中央公民館 13:00～13:30 受付・準備、13:30～15:30
及川先生講義(万葉集⑧)、15:40～16:40 例会、消毒・整理

聴講者 歓迎！

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

7月21日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会

テーマ：島嶼防衛に関するDVD鑑賞&討論会

8月 定例会はお休み

9月22日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会

テーマ：未定

3. 活いききシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

7月28日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター101 定例会

〈市民後見いきいきNet 所沢〉中川 博之氏

「終活」に関する講演会を聴講

8月は夏休みで休会

9月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会(予定)

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

7月13(火)13:15～16:30 中央公民館 3階8・9号学習室

「日本の伝統音楽特集」長唄、浄瑠璃、浪曲、三味線、琴など

8月例会：夏休み

9月例会：日程未定

楽しい音楽を一緒に！！

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

7月20日(火) 7月定例会 中止

8月17日(火) 10:00～12:00 ふらっと(会議室)2階

「地球環境に学ぶ」サークルとの合同定例会

9月21日(火)10:00～11:20 ふらっと(会議室) 講演 題名：「生活習慣病予防」講師：健康づくり支援課の管理栄養士の方

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

7月20日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室

定例会 ①環境討論会脱炭素の問題点 ②持寄り環境情報 ③その他

8月17日(火)10:00～ 食トコと合同例会・「環境行動宣言」の件

7月14日(水)、7月26日(月)10:00～ 読書会「日本が売られる」

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

7月28日(水)13:15～15:30 生涯学習推進センター 多目的室

出前講座 テーマ「近所でこどもの遊ぶ声が聞こえますか？」

〈スマイルパイレーツ SP チアダンス練習日〉見学大歓迎

7月10日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

7月24日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

7月28日(水) トトロ 21号地保全作業

7月20日(火) 柳瀬荘黄林閣散策路整備作業。

7月30日(金) 柳瀬荘黄林閣散策路整備作業

8月の定例会は夏休みとします。

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

7月に計画した室内講座開催はコロナ感染防止対策上、中止し延期とした為、7月活動はありません。

8月は暑中休暇として活動計画はありません。

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

7月24日(金)10:00～12:00 中央公民館学習室3号

8月は夏休みで休会

9月4日(金)10:00～12:00 中央公民館学習室3号

9月18日(金)10:00～12:00 中央公民館学習室3号

シェイクスピア戯曲「ヘンリー4世第二部」の朗読

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

7月13日(火)10:00～12:30 西新井町会館

洋画「ニューヨーク東8番街の奇跡」(87年) UFOと出会い

7月27日(火)10:00～12:30 西新井町会館

終戦勉強会・邦画「ビルマの堅琴」(56年) 安井昌二 主演

⇒ 東京オリンピック禍の上映会 ～七夕の会～

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

7月26日(月)13:30～16:00 こどもと福祉の未来館

多目的室2号 「認知症関連手続き等について」

講師：NPO法人「ブーゲンビリア」代表理事・泉志津子氏

8月 定例会は休会とします。

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

7月19日(月) 新所沢東公民館「今期下期計画」を優先

改正五輪特措法成立後、7月19日(月)は平日変更

コロナ中止が心配されますが、下期計画を優先検討

8月 定例会は休会とします。

9月21日(火) 予定、テーマ未定

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

7月15日(木)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館

ボランティア活動室2号(1階)

1)『絵で見るむかしのところざわ・その1』のシナリオ案検討

2)『塚ノ越地蔵』を読み語り

8月は夏休み

理事会報告

6月14日(月)第7回理事会を新所沢東公民館にて開催しました。

・文芸講座 及川道之秋草学園教授「本と出会う～今 読んでおいで良かった」6/17と6/24 2回連続開催。会員59、一般19名聴講。

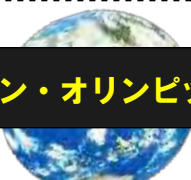
・時局講演会を10月開催で計画中。テーマ仮称「激甚化する気象災害～荒川の治水対策は大丈夫か～」講師 嶋津暉之氏(水資源開発問題全国連絡会・共同代表)

・広場9月号に新会員紹介特別号を挿入予定。

現時点の入会者15名。うち27期修了生は4名。

・コロナ禍で27期生の組織的勧誘活動が困難なため、各サークル独自の勧誘活動や会員からの「つて」に期待しています。

・地球環境に学ぶサークルの環境改善チェックシートは、7月12日理事会にて回収し、広場9月号で集計結果を発表します。



コロナ・ワクチン・オリンピック（その2）

玉上 佳彦

方向性を語ることなく、何も決断せず、なし崩し的に先送りした結果として、時間切れでオリンピックを強行開催するという「日本独特の無責任」体制の何たる無策でしょうか？

我が国のトップは、多くの国民のオリンピック中止の声に答えることをせず、専門家の意見を無視して、G7の首脳に救いを求めるという恥ずべき行動に出ました。皆さんはどう思いますか？ なぜ今オリンピックなのでしょう。今となっては、感染拡大しても、国民の安全・安心に目をつぶって、平和の祭典？オリンピックは規定事実として開催されることでしょう。しかし、杜撰な入国管理、行動規制はザルから水が漏れるような体制で、期間中の感染拡大は必須です。「国民の生命と健康を守る」は、オリンピックありきの大号令の中では消えてしまっています。

ワクチンが最後の砦と言いながら、なぜ入手が遅れたのか、なぜ外国のワクチンに依存して、国産ワクチンができないのかということも私達は真剣に考えていくべきでしょう。

今後、私達は、リーダー不在のこの日本に、何を期待したら良いのでしょうか？

私の杞憂かも知れませんが、非常に心配です。夢のオリンピックが「悪夢のオリンピック」になることがないように願いたいものです。

むさし野俳句会（令和三年七月）作品抄

美しく老ゆる話題や七変化
十葉の押し寄せてゐる勝手口
十葉とスーパームーン庭ほのか
のつそりと来て庭石となる臺
耳鳴りを暫し忘るる青嵐
雲の峰隈取り浮ぶ夕落暉
問診に小さな嘘や桜の実
大木の周り白蛾の乱舞かな

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
小林 貞夫
小林 典子

新らしき新茶の幟朝日影
歳時記をめくる歳月夏木立
バック入り皿に移して初鯉
十葉の白を残して森暮るる
尾根結ぶ高圧線や雲の峰
未央柳金の触手の如き蕊
万緑や少し傾ぎし夫の背

佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓二
中嶋 弘子
鈴木 征子

「むさし野俳句会」も新型コロナ感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者にご照会下さい。

連絡先 小林 2996-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

《編集後記》

コロナ禍の中で、行きたい所へ行けないという閉塞感や人と思うように会えない、という生活が長くなり無性に寂しくなることがある。そんな中梅雨の晴れ間はほんの少し心を浮き立たせてくれてありがたい。多くの人はまん延防止措置の延長で我慢の限界を超えているのでは、と思う。幼い我が子や孫の運動会さえも思うように観ることができない状況はそのまま、オリンピックは観客を入れて開催する方向で進んでいる。世の中はワクチンを接種すれば安心であるかの風潮が多々感じられるのも異様である。すでに接種済みの来日選手団から陽性反応選手が出ている中での強行に不安が増す。感染拡大した時はまた国民だけが更に厳しい自粛生活を強いられるのだろうか。

コロナ禍が1日でも早く沈静し平穏な日常をと願いながら楽しく、面白く過ごす工夫を心がけている毎日です。
(浪間 記)

「広場」問い合わせ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳「六十四」 作品発表 選 中島峯生

課題「洗濯」

洗濯に連れられ川へ泳ぎ出す
自粛時部屋干しをして居場所なし
シゴト増え炊事洗濯風呂洗い
干す前に叩いて晴らすシワとグチ
竜馬ならどんな洗濯するのか
身だしなみデートの時は白いシャツ

「自由題」

電話越しワクチンしてね孫の声
リニアカー出来た頃にはもう要らぬ
ハエが舞う負けずとたたき敵逃す
政治より科学で中止オリンピック
趣味の会補聴器ずれてかみ合わせ
ワクチンを打ちたいのかな本音かな

詔 丘の河童 突拍子
りんご好き 庵閑子
ど う し
海さ とる

次回（第65回）課題「給料」そして「自由題」
締切り日：8月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161